

キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

市内外で活躍するバルーンアートパフォーマー



ふうせん芸人
おちゃっぴいほりこしさん

バルーンアートを通じて人とつながる

色とりどりの風船を变幻自在に使い分け、リズムカルな動きとコミカルな表情で観客の目を引き寄せながら、あっという間に作品を作り上げるバルーンアート。

市内在住のふうせん芸人『おちゃっぴいほりこし』さんは、これまでにバルーンアートの全国大会といわれる『ツイスターズ』で優勝するなど各種大会で入賞実績のあるバルーンアート界の第一人者です。

「観客の生のリアクションを見ながらパフォーマンスができるのがバルーンアートの面白さ、パフォーマンス中は、演者と観客の真剣勝負なんです。」と笑顔で語るおちゃっぴいさん。一生を

通じて打ち込めるものを身に付けたいと手品を習い、『もっと観客を喜ばせたい』と考え、バルーンアートに出会ったのが25年前。これまで、市内だけでなく全国各地のイベントや施設でパフォーマンスを行い、バルーンアートを通じて多くの人々と出会い、楽しませてきました。

今月開催される『ツイスターズ2018in青森』にも出場予定で、今後も挑戦を続けるおちゃっぴいさん。「見て下さる人がいてこそこの芸人。バルーンアートを通じて自分の世界が広がったので、これからも人とのつながりを大切に活動していきたい。」と話す視線の先には、さらなる新しいバルーンアートの世界が広がっています。



▲重忠まつりでパフォーマンスを行うおちゃっぴいほりこしさん

おちゃっぴいさんは、技術や知識を持つ市民を動画で紹介する「技活」に登録しています。詳しくは「技活」で検索または協働推進課へ

L・フォルテ

男女共同参画情報コーナー

ともに認め合い、支え合う、心豊かな社会をめざす
個人権政策課 ☎ 574 - 6643

L・フォルテは、深谷市男女共同参画推進センターの愛称です。このコーナーでは、男女共同参画に関する情報を皆さんに紹介します。

6月23日～29日は男女共同参画週間です！



深谷市では、『男は仕事、女は家庭』といった性別による固定的な役割分担意識にとらわれることなく、お互いを認め合い、それぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を目指し、『第3次深谷市男女共同参画プラン』を策定しました。

このプランに基づき、男女共同参画社会を実現していくためには、市民の皆さん一人ひとりの取り組みが必要です。この機会に、私たちのまわりのパートナーシップについて考え、みんなで男女共同参画社会をつくっていきましょう。

今年のテーマは、

『走り出せ、性別のハードルを超えて、今』 です。

キララ上柴(アリオ深谷3F)ロビーでパネル展を開催します。お気軽にお越しください。
期間：6月23日(土)～29日(金)

ふっかちゃんの日常から 深谷が見えてくる

ふっか 散歩

⑥ 衛生センター

今日は、パティオの隣にある衛生センターにきたよ。ここでは、市内全体のし尿とかを処理しているんだって。平成28年に新しい施設になったんだよ。施設内のどの設備もとってもクリーンでふっかちゃんもビックリ♪



◀ここは『中央監視室』だよ！いろんなモニターが置いてあって、センターの様子が全部わかるようになってるんだ。1日に50台～70台もトラックが運んで来るんだってえ。



▲処理したし尿とかは、毎日、この『水質試験室』で成分をチェックしてるんだってえ。毎日きちんと水質チェックしてるから、安心だね～♪

ふっかちゃんの つぶやき

6月28日は、ふっかちゃんの誕生日♪30日には深谷ビッグタートルで『ふっかちゃんバースデイパーティー』を開催するよ！Y(o)u00!



心の広場

深谷中学校2年(現3年)
関本 愛美さん



イジメ

私は、この人権作文に関して「イジメ」というものについて考えました。イジメは、人を傷つけることであると思います。私は、テレビや新聞からたびたび伝えられているいじめ問題のことについて自分には関係ない話だと思っていました。

しかし、私が小学生のときに経験したイジメは今でも忘れられません。小学六年生のころ、自分の気づかないところでひそひそと、陰口を言われていました。それから、イジメはエスカレートしていき、クラスの子が急に冷めなくなり、ついに誰もしゃべれなくなってしまいました。クラスの子たちが笑っていることも怖く感じてしまう苦しい日々でした。私は、素直になれず、一生懸命強がって毎日をがんばっていました。原因は「ある人」がうそで作った話で事実のことでは、ありませんでした。その一ヶ月後の掃除のときでした。私が雑巾で床をふいていると「その人」がわざわざ、ほうきで集めたゴミを私の、ふいて

いる床の目の前にだしてきたのです。勘違いかなと思いましたが、違いました。そのときの私の気持ちは、今すぐに目から涙があふれだそうでもと悔しかったです。「その人」は、笑いながらにらみ、私のほうを見てきて私は少し「ゾッ」としました。それから、私は勇気をだして、誤解されうそをつかれていることをみんなに打ち明けました。また、少しずつみんなと一緒に楽しく話せたりすることができました。

私のように、自分一人で抱えこまないで、先生や親に相談すれば少しでも気持ちが楽になります。また、このようにいつも相手の気持ちを考えて行動すること、困っている人がいたら声をかけてあげることが大切なんだと、私は経験して気づきました。

私は、今まで生きてきて辛い日々もありましたが、毎日をポジティブにとらえることで楽しい一日一日が過ごせました。また、「イジメ」とは犯罪と同じだと思います。その、「イジメ」をなくすために、毎日のあいさつが必要で誰にでも優しく接することが重要だと改めて、気づくことができました。私たちは、どんな人でも生まれたら平等です。私たちは、みんな同じ人間なのです。決して「イジメ」「差別」をしてはいけません。私は「イジメ」がない、笑顔があふれる世界になってほしいです。そのために、私はみんなに優しく、思いやりを持てる人間になりたいです。